【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【公開番号】特開2012-137250(P2012-137250A)
【公開日】平成24年7月19日(2012.7.19)
【年通号数】公開・登録公報2012-028
【出願番号】特願2010-290124(P2010-290124)
【国際特許分類】
Ｆ２３Ｃ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２３Ｃ　1/00　３０１

【手続補正書】
【提出日】平成25年12月25日(2013.12.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
次に、本実施形態に関するスラリ製造装置３２で製造する脱硫スラリ３３の製造条件を決定する手順について、図２を用いて説明する。ミル内に供給する水分量は炭種にもよるがミル振動抑制の観点から、石炭供給量の１０％以内が最適とされる（図２に示す例では、条件１として３％に設定している）。また、スラリ濃度としては、ノズル３９でのスラリ流動性（スラリがノズル３９で詰まりが生じないように流動性を確保する）を考慮して、条件２として１５％程度が望ましい（すなわち、水８５％、石炭灰１５％）。このことから、スラリを構成する水分量と石炭灰量が決まる。